

11月25日 大文字山（如意ヶ岳）

森本 竜二

山名	大文字山（如意ヶ岳）		山行名	例会	
ルート	JR山科駅～毘沙門堂～諸羽登山口～大文字山～南禅寺～地下鉄蹴上駅				
山行日	2021/11/25（木）		天候	晴れ	
参加者	リーダー：森本竜二 サブリーダー：倉光展子 男性：佐々木康治、永井繁一 女性：玉置安世、蒲田史 合計：6名				
ルート概略図			コースタイム		
			地名	時：分	地名
		JR山科駅	集 8:30 発 8:35	陰山	着 10:25 発 10:35
		毘沙門堂	着 8:50 発 8:55	雨社	着 11:25 発 11:35
		諸羽登山口	着 9:10 発 9:30	大文字山	着 12:00 発 12:35
		諸羽山	着 9:50 発 9:55	南禅寺	着 13:50 発 14:20
		柳山	着 10:05 発 10:15	蹴上駅	着 14:30 発
山行報告 山科駅から洛東高校の生徒に紛れ、校門前で怪訝な顔の教師を横目に毘沙門堂へと向かう。3脚を立てた大勢のカメラマンの後ろを通り紅葉の石段を上ると渋滞が。続きはテレビで観ることにして早々に諸羽登山口へ向かう。諸羽山を背に南を眺めると左側に音羽山から醍醐山、右は東海道線のトンネルから稲荷山、両側とも山並みが宇治川まで続いている。 きつい急坂を登った諸羽山（220m）の真下のトンネルに疎水が流れている。ここからは気持ちの良い尾根歩きで柳山（261m）、蔭山（310m）とピークが続く。琵琶湖の眺望良好所、1か所あり。雨社で如意越えに突き当たる。近江方面は次回の楽しみにし、大文字山（465m）へ。今日は眺望良好で京都と山科を東山36峰が分け、男山の向こうには影絵のようなあべのハルカスが！稲荷山の向こうの大岩山に向かって「Iさーん」と叫びました。 大文字四辻（京都トレイル45番）から蹴上方面へ、42番でトレイルを外れ南禅寺方面へ。迎えてくれたのは、修行の滝駒ヶ滝とほら貝の音。さらに下ると紅葉の穴場最勝院高德庵。すぐに水路閣があり、山科の疎水と繋がる。「サスペンスの最後にいつも映る所や。」との声も。南禅寺境内に入り紅葉を堪能した後、地下鉄蹴上駅で解散。 秋の山行ラッシュのはざまでしたが、小春日和に恵まれ気持ちの良い運動と紅葉狩りができました。SL倉光さん始め参加者の皆様、お疲れ様でした。					
ヒヤリハットなし					



毘沙門堂



雨社



大文字山



最勝院高德庵



水路閣



南禅寺境内

感想

大文字山（如意が岳）

倉光 展子

今年の「紅葉」は例年に比べてすばらしい。山行の前日ニュースで、私たちが明日通る計画になっている毘沙門堂を写していた。明日は混むだろうなあ、と思っていた通り、多くのカメラマンがいろいろな角度から、一生懸命写真を撮っていた。まずは、その光景と紅葉を楽しんで、登り口へ。天気もいいし、いつもの強行軍ではない。今日はみんなと楽しもう、と思った通り、楽しい山行になった。京都一周トレイルだけではない。いろいろなトレイルが都の周りを取り巻いている。都へ、都へと道はどこまでもつながっている。里山の醍醐味である。リーダーの柔らかい雰囲気、みんなほっこり包まれて、こんな山行もいいなと思った。南禅寺に降りたが、紅葉真っ盛り、人も真っ盛り、老若男女感嘆の声を上げては写真に収めていた。

郷愁の送り火、真っ盛りの紅葉

佐々木康治

大文字山といえば「送り火」、例年8月16日の午後8時前になるとソワソワしだし、近隣の人たち共々家族打ち揃って近くの学校の屋上にあがり、「ワー、大文字が灯りだした！ 船形だ！ 左大文字だ！ 妙法だ！・・・」と歓声を上げたのが私の真夏の風物詩。昼間は自転車で金閣寺、銀閣寺に行き、寺はこの日だけは拝観無料、両寺裏の火床までエッチラオッチラ薪を運び上げたことを思い出す。

今日の集合地はJR山科駅、女性3、男性3と動きやすい人数。最初に向かったのは紅葉真っ盛りのお寺、カメラを構える人で大賑わい、「ここはどこ？」と尋ねると「毘沙門堂」・・・NHK・TVで連日紅葉の名所として放映されている名刹、本物を目の当たりにでき嬉しいサプライズ、感激することしきり。

山道は静か、自然林の中に映える紅葉にウツトリ、写真を撮るのに忙しい。諸羽（もろは）山、柳山、蔭山とアップダウンを繰り返し目指す大文字山(466m)には正午到着。山頂広場には丸太のベンチが数多く並び、木曜日というのに登頂者が鈴なり。大文字は蹴上、銀閣寺からの手軽なハイキングコース、京都市街が見渡せ、幼稚園児たちが行儀よく昼ご飯を食べている。ほら貝の音が聞こえともう南禅寺境内、紅葉狩りの老若男女でごった返し、着物姿も多く華やかな雰囲気。登山日和に恵まれた思い出深い山行をプレゼントしてくれた森本さん、倉光さんに多謝。

蒲田 史

毘沙門堂の紅葉を見てから諸羽登山口へ。粘土層の上に落ち葉が溜まっていてその上急登。滑る！と言いながら登り始めました。そんなには続かないとの言葉通り、しばらくするとなだらかに。陽射しがあれば暖かく諸羽山、柳山、蔭山、大文字山と尾根を気持ちよく歩きました。途中琵琶湖も見えます。毘沙門堂も南禅寺の紅葉もちょうど見頃で、楽しく気持ちのよい山歩きとなりました。ご一緒していただいた皆様ありがとうございました。